

KEYUCA

軽量ロック付保冷ステンレスボトル 470

取扱説明書

保冷
専用

本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前には、必ずこの取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。

各部の名称

キャップユニット

ロックバー

キャップ

飲み口パッキン

飲み口

プッシュボタン

フタ

フタパッキン

飲み口パッキンのつけ忘れが一目でわかる取り付け部

飲み口パッキン

キャップは後ろに倒すと固定できるため、飲む際にボトルが傾いてもキャップの戻りを防ぎます。

本体

口がね

胴部

内びん

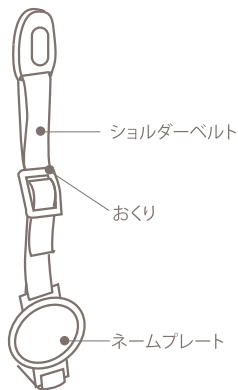
底板

ショルダーベルト

おくり

ネームプレート

※お読みになった後は、必ずいつでも確認できる場所に保管しておいてください。



ご使用方法

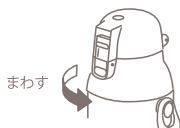
※熱い物は入れないでください。

内圧が上がり、キャップユニットがはずれたり、飲み物が漏れたりするおそれがあります。

※熱い飲み物が直接口内に入るため、やけどの原因になります。

1 キャップユニットをはずす

矢印方向へ回して、本体からはずします。



2 冷えた飲み物を入れる

飲料水の量は図の位置までにしてください。
入れすぎると漏れやあふれの原因となります。



3 キャップユニットをしめる

矢印方向に回して、確実にしめてください。



4 飲み物を飲む

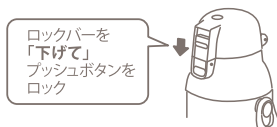
- 1 ロックを解除し、プッシュボタンを押すと、キャップが開きます。
- 2 飲み口に口をつけ、ゆっくりとかたむけながら、飲みます。



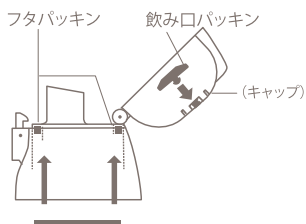
5 飲み終わったら

本体を立てた状態でキャップをしっかりと閉じます。

※不注意等によるキャップオープンを防ぐため、ロックバーでプッシュボタンをロックした状態にしておきましょう。



パッキンの取り付け方



キャップユニット

飲み口パッキン

キャップ側の穴の部分に、パッキン側の凸部分を押し込みます。

フタパッキン

フタ内側の溝全周にわたって、パッキンの凹みの面がフタにあたるように、セットしてください。セット後は、指でまんべんなく押さえ、パッキンが浮いていないことをお確かめください。

必ずお守りください。漏れやあふれは他の物を汚す原因となります。

- 飲料水の保冷以外にご使用しないでください。
- 飲料の変質・変色、製品の故障や汚れを防ぐために下記事項をお守りください。

熱い物は
入れないでください。



※内圧が上がり、キャップユニットがはずれたり、飲み物が漏れたりするおそれがあります。
※熱い飲み物が直接口内に入るため、やけどの原因になります。

次の物は絶対に入れないでください。

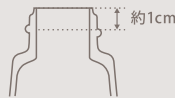


- ドライアイス、炭酸飲料水等（内圧が上がり、キャップユニットが開かなかったり、内容物が吹き出る等危険です。）
- 牛乳、乳飲料、果汁等（成分が腐食することがあります。）
- みそ汁やスープ等、塩分を含んだもの（内びんはステンレスを使用していますが錆びるおそれがあります。）
- 果肉、お茶の葉等（詰まる、漏れる等故障の原因となります。）

ショルダーベルトを首にかけてふざけたり、乱暴に遊ばないでください。窒息などの危険性があります。



飲み物の量は図の
位置までにしてください。



入れすぎますと、飲み物があふれることがあり危険です。

ストーブやコンロなど
火のそばに
近づけないでください。



変形や変色の原因となります。

本体の
つけ置き洗い、まる洗いは
しないでください。



本体内部に水が入り、サビが発生したり、他の物を汚したりします。

落としたり、ぶつかけたり、
強い衝撃を
与えないでください。



表面がへこみ、保冷性能が低下することがあります。

フタパッキン・
飲み口パッキンが
正しく取り付けられている
ことをお確かめの上、
確実にしめてください。



漏れの原因になります。

絶対にしないでください。

- 自動食器洗浄機・食器乾燥機は絶対に使用しないでください。（変形、水漏れ、又は破損の原因となります。）
- 運転しながらのご使用は危険ですので、おやめください。
- 本体、キャップユニットは煮沸しないでください。（変形し、漏れなどの原因となります。）
- 改造、分解、修理はしないでください。（故障や事故の原因となります。）
- ショルダーベルトを持って振り回したり、強く引っばったりしないでください。

ご注意ください

塩素系漂白剤、シンナー、
ベンジン、金属タワシ、
みがき粉、クレンザー等
は使わないでください。



キズがついたり、サビや故障の
原因となります。

大きな氷を入れる場合は
押し込まず、小さくして
入れてください。



キズや漏れの原因となります。

バッグなどに入れる際は、
万一の漏れを防ぐために
本体を縦置きにしてください。



- お茶を入れて長時間保冷した場合、お茶の色や風味が変わることがあります。これはお茶の成分が時間とともに変化するためのもので、人体に害はありません。
※お早めにお召し上がりください。
- 内容物を長時間保存しないでください。（変質や腐敗のおそれがあります。）
- 製品の構造上、温度が高いときにフタに水滴が付く（結露する）ことがありますのでご注意ください。

お手入れの仕方

ご使用後はいつまでも清潔にご使用いただくために必ずお手入れください。

本体

- ①汚れがひどい場合は、湯で薄めた食器用中性洗剤を柔らかい布に含ませ固く絞り、汚れを拭き取ってください。
(アルカリ性洗剤、オレンジオイル系洗剤は使用しないでください。)
 - ②乾いた布で十分に拭いてください。
 - ③本体のまる洗い、つけ置き洗い等は絶対にしてしないでください。
- ※絶対に自動食器洗浄機、食器乾燥機は使用しないでください。
※煮沸はしないでください。
※本体底部に水が入った場合は、本体上下に振って水抜きをしてください。
※塩素系漂白剤を使用しないでください。

内びん

- ①ご使用ごとに柔らかいスポンジできれいに洗い、充分乾燥させてください。
 - ②ステンレスを使用していますが、水質や不純物などにより、サビのような赤い斑点ができることがあります。
このような場合は 10%ほどのお酢を加えたお湯を入れ約 30 分後、柔らかいブラシで内面をきれいに洗った後、十分にゆすいでください。
- ※保管するときは、汚れを落として充分乾燥させてください。

キャップユニット

- ①ご使用ごとに柔らかいスポンジできれいに洗い、充分乾燥させてください。
 - ②お手入れ後は 2 つのパッキンが正しく取り付けられていることをお確かめください。
- ※絶対に自動食器洗浄機、食器乾燥機は使用しないでください。また、煮沸はしないでください。
(変形し、漏れなど故障の原因になります。)

ショルダーベルト

- ①水またはぬるま湯で軽く手洗いし、充分乾燥させてください。
- ※洗濯機では洗わないでください。

部品名	洗い方	流水洗い	つけ洗い	酸素系漂白剤	塩素系漂白剤
フタ		○	×	×	×
キャップユニット		○	○	○	×
パッキン		○	○	○	○
本体	内側	○	○	○	×
	外側	○	×	×	×
ショルダーベルト		○	×	×	×

修理を依頼される前に

次の項目について点検をおこなってください。
いずれの場合にもあてはまらない場合はお買い上げの販売店へご相談ください。

症 状	点検するところ	処 置
飲み物が 漏れた	キャップ、フタがきっちりとしまっていますか。	確実にしめてご使用ください。
	飲み物を入れすぎていませんか。	規定の量まで入れてください。
	パッキンが正しく取り付けられていますか。	正しく取り付けてください。
	キャップユニットやパッキンが消耗していませんか。	交換パーツをお求めの際は、購入店へご相談ください。
本体内側が 変色した	サビのような赤い斑点がみえませんか。	水に含まれる鉄分が付着しておこります。食酢を10%程度入れたぬるま湯を入れ約30分後によく洗ってください。
	ザラザラしたものではないですか。	水に含まれるカルシウム等が付着しておこります。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を入れ、キャップユニットを取り付けずに約3時間後によく洗ってください。
保冷が 効かない	十分に冷たい飲み物を入れてありますか。	冷たい飲み物を入れてください。また、あらかじめ本体内びんを予冷しておくとお効果的です。
	飲み物の量が少なくないませんか。	水や飲み物の量を多くすると効果的です。
異臭がする	内容物を長時間入れたままにしませんか。	ご使用後はきれいに洗い充分乾燥させてください。

この商品は行き届いた品質管理のもとで生産されておりますが、万一不良品やお気づきの点がございましたらご連絡ください。

KEYUCA www.keyuca.com
河淳株式会社
東京都中央区日本橋浜町3-15-1



電子レンジ
不可



食器洗浄機
不可



冷凍不可

